

# 実験実習機器センター

## 1 構 成 員

	平成23年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
助手(うち病院籍)	0人 (0人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	16人
その他(技術補佐員等)	3人
合計	20人

## 2 教員の異動状況

小島俊男(准教授)(H22.4.1～現職)

## 3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成22年度
(1)原著論文数(うち邦文のもの)	9編 (2編)
そのインパクトファクターの合計	8.27
(2)論文形式のプロシーディングズ数	3編
(3)総説数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4)著書数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
(5)症例報告数(うち邦文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

### (1) 原著論文(当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 太田 勲, 村中祥悟: FIB スライスと SEM 撮影の繰り返し操作による細胞構造解析のための試料作製法. 医学生物学電子顕微鏡技術学会誌, 24(2), 31, 2010.

インパクトファクターの小計 [ 0.00 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Kato A, Suzuki Y, Suda T, Suzuki M, Fujie M, Takita T, Furuhashi M, Maruyama Y, Chida K, Hishida A: Relationship between an increased serum kynurenine/ tryptophan ratio and atherosclerotic parameters in hemodialysis patients. Hemodialysis International, 14,418-24,2010.
2. Saitoh M, Kuroda R, Muranaka Y, Uto R, Mirai J, Kuroda H: Asymmetric inhibition of spicule formation in sea urchin embryos with low concentrations of gadolinium ion. Develop Growth Differ, 52, 735-746, 2010.
3. 山濱由美, 熊切葉子, 村中祥悟, 針山孝彦: 昆虫胚初期発生過程における脂肪滴形成と脂質輸送～高圧凍結・凍結置換法を用いた電顕観察と免疫電顕観察～. 医学生物学電子顕微鏡技術学会誌, 24(2), 66, 2010.

インパクトファクターの小計 [ 2.28 ]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Yamamoto T, Higo N, Sato A, Nishimura Y, Oishi T, Murata Y, Yoshino-Saito K, Isa T, Kojima T: SPP1 expression in spinal motor neurons of the macaque monkey. Neurosci Res, 69(1), 81-6, 2011.
2. Yamada M, Asai K, Yamashita J, Suyama T, Niimi T, Maddali K, Fujie M, Nakamura S, Kimura M, Tanaka Y, Toda M, Yamashita M: Synthesis of some 1-aryl-2,3-dibromo phospholanes as novel anti-cancer agents. Heterocyclic Commun, 16, 173-180, 2010.
3. Sankar A U, Yamashita M, Srinibasulu K, Ozaki N, Aoki T, Fujie M, Ogawa K, Okada S, Yamada M, Tanaka Y, Kimura M, Toda M: Synthesis and in vitro studies of Gd-DTPA derivatives as new potential MRI contrast agents. Tetrahedron Letters, 51, 2431-2433, 2010.
4. Yamashita J, Suyama T, Asai K, Yamada M, Niimi T, Fujie M, Nakamura S, Ohnishi K, and Yamashita M: Research and development of phospho sugar anti-cancer agents with anti-leukemic activity. Heterocyclic Commun, 16, 89-97, 2010.
5. Yamada M, Asai K, Yamashita J, Suyama T, Niimi T, Maddali K, Fujie M, Nakamura S, and Yamashita M: Preparation and characterization of phospho sugar analogues, 2,3-dibromo -3-methyl-1-phenylphospholane-1-oxide derivatives, as novel anti-cancer agents. Phosphorus Sulfur Silicon and the Related Elements, 185, 2286-2291, 2010.

インパクトファクターの小計 [ 5.99 ]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Muranaka Y, Ohta I, Park P: Artifacts are functionless structures which mislead the electron microscopic evaluation in stressed biological tissues. J Electr Microsc Technol Biol, 23(2), 89, 2010.
2. Ohta I, Muranaka Y, Park P: Extinction of membrane contrast with Sorensen phosphoric acid buffer

including potassium in the preparation of transmission electron microscope samples.J Electr Microsc Technol Biol,23(2),101,2010.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Hokamura K, Muranaka Y, Min T, Wada K:Influence of oral bacteria, TW295, on cerebral hemorrhage in mice.J Electr Microsc Technol Biol,23(2),110,2010.

## 5 医学研究費取得状況

	平成22年度
(1) 文部科学省科学研究費	4件 (467万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 ( 0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1件 (130万円)
(4) 財団助成金	1件 (100万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 ( 0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 ( 0万円)

### (1) 文部科学省科学研究費

小島俊男（分担者） 基盤研究（A）

「口腔・歯周病フローラのメタゲノム解析」440万円（継続）

代表者 愛知学院大学 教授 野口俊英

藤江三千男（分担者） 基盤研究（C）

「ソラフェニブによる肝細胞癌多段階発癌阻止の可能性」

20万円（新規） 代表者 浜松医科大学 准教授 竹原康雄

藤江三千男（分担者） 基盤研究（C）

「単糖骨格由来合成化合物の造血器腫瘍治療薬開発に関する研究」

2万円（継続） 代表者 浜松医科大学 助教 中村悟己

藤江三千男（分担者） 挑戦的萌芽研究

「がんの超早期発見・早期治療を可能にする複合機能化MRI造影剤・抗がん剤の基礎研究」5万円（継続）

代表者 静岡大学 特任教授 山下光司

### (3) 他政府機関による研究助成

村中祥悟（代表者） 日本学術振興会 JST A-STEP

研究成果最適展開支援事業フィージビリティスタディ

【FS】ステージ 探索タイプ 130万円

### (4) 財団助成金

小島俊男（代表者） 財団法人 静岡総合研究機構 静岡県 SOE 助成

「細胞間接着因子の機能不全による歯周病分子病態の解明」

100万円（新規）

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1)特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2)シンポジウム発表数	0件	0件
(3)学会座長回数	0件	0件
(4)学会開催回数	0件	0件
(5)学会役員等回数	0件	2件
(6)一般演題発表数	0件	

### (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

村中祥悟 医学生物学電子顕微鏡技術学会 理事

太田 勲 医学生物学電子顕微鏡技術学会 評議員

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリース数は除く)	0件	0件

### (3) 国内外の英文雑誌のレフリース

小島俊男 DNA Cell Biol (USA) 1回

小島俊男 Brain & Development (日本) 1回

小島俊男 J Bone Miner Metab (日本) 4回